

ガンバ堺ニュース 10月

《保護者のサポート》

子どもたちは大人の行動を見て、同じように振る舞うようになります。教えている大人、見ている大人の態度こそ大事なのです。子どもの将来の為に同じ目線で、スポーツ嫌いにさせないサポートを考えてみましょう。

こんなことを心がけましょう！！

子どもの失敗は自ら学習する大切なチャンスです

子どもはたくさん失敗することで、色々なことを学んでいくのです。周りの大人が失敗する前に先回りして手を差し伸べていたら、自力で学ぶ大事なチャンスを奪うことになります。

そして、いろいろな場面で、『待つ』余裕を持ち、子どもの目線になって分かりやすい言葉で穏やかに話すように心がけてください。

運動嫌いにさせない為に、子どもに対する言葉に十分に配慮しましょう。

例えば、プレーをミスしたときに、一方的にそのプレーを否定し、『～してはだめだ！』というようなことを言ったらどうでしょう。子どもは失敗を恐れて次のプレーが出来なくなってしまう。

勝利至上主義者に陥ってしまっているありがちな言動といえますが、このような言動は子どもたちをスポーツ嫌いにするばかりか、自ら考えてプレーする事を妨げてしまっています。また運動をすることや体を動かすこと自体が、楽しいとすることが出来なくなってしまう。

子どもに対して適切な言葉がけができていますか？

プレーでミスをした時に、否定的な言葉をかけていませんか？

言葉とは様々な影響を与えます。その点を考えた上で、子どもに言葉をかけて下さい。

『遅いぞ！』『もっと速く走れ！』『ボールばかり見るな！』

『やる気を出せ！』『ヘタクソ！』

その他、否定的な言葉はたくさんありますが・・・こんな言葉を使ってませんか？

子どもたちにとってスポーツは『安全』で『効果的』、そして何より『楽しい』活動であるべきです。その為には、体、心、スポーツ（サッカー）の特性を理解することが欠かせません。

また本人のモチベーションを上げる為にも、適切な目標も大切です。ただ勝つことだけが目標ではなく、子ども自身の精神的、体力的な向上を目標とするのが良いと思います。その目標を達成出来たら、少しその先の目標を設定し、励ましながらフォローをしていって下さい。

《公式戦情報》

・JY3 高円宮杯 JFA 第33回全日本U-15サッカー選手権大会 大阪府予選プレーオフ2021

見事！大阪府予選突破！！4年振りの関西大会出場！！

11/3(祝水)より関西各地で全国大会予選がスタートします。ご声援よろしくお願い致します。